【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 年数回開催のカリキュラム検討会議の中で達成状況、課題・問題点等について協議し、シラバスを作成している。 新年度初日のガイダンスにおいて学生全員に学生便覧という形で配布している。	
授業計画書の公表方法	http://s-do.ac.jp
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) １　評価方法・基準は、①定期試験　②小テスト・作品・技術力　③レポート　④授業態度　⑤出席率からなり、評価割合は講義概要(シラバス）に記載されている。 ２　評価は５段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。 A　１００～９０ポイント B　　８９～８０ポイント C　　７９～７０ポイント D　　６９～６０ポイント E　　５９～　　ポイント（単位未修得）	
３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、GPA の導入方法としては、E 評価（単位未修得）となった学生に対し、補講、再試験又は特別試験を実施。 <GPA の算出方法> A 評価４点、B 評価３点、C 評価２点、D 評価１点、E 評価０点。 各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。 全教科の合計点を総単位数で割り小数点第２位を四捨五入した数値	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://s-do.ac.jp
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業は各学科の全科目を履修すること。 本学の定める所定の単位を修得した者、修得見込み者に対し、３月初旬卒業認定会議を実施し、卒業認定者を学内掲示板に公示。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://s-do.ac.jp